

編集後記——現在の枠組みを無前提かつ無批判に過去にあてはめることは、歴史意識の欠如以外の何物でもないが、国民国家が創成してきた神話はしばしば歴史意識の欠落した歴史を描いてきた。◇中国近現代史研究が中国共産党史の呪縛から離れ、中国共産党史を相対化し始めてかなりの時間がたったが、今なお中国では「偽」の文字が汪兆銘たちの名前から外されることはない。しかし、「漢奸」の汚名をかぶることを敢えて避けず、和平を追求しようとしたと主張する汪兆銘の評伝もすでに数多い。汪兆銘が蒋介石に述べたという「我は苦難の道を往く」を指摘することはその典型であろう。◇今回の特集は、「大日本帝国」が構想していた「大東亜共栄圏」の各地にあった対日協力のありかたを検討するものであった。「和平」活動は「売国」と非難されたものだけではない。中国の圧力が弱まったことで、自立を模索する動きを見せた地域もあったし、日本による統治に対して受容による抵抗も行い、新たなアイデンティティを獲得していったところもある。◇「敵と味方」、「侵略と抵抗」、「民族独立と売国奴」という二項対立で整理しきれないほど歴史は単純ではないということだが、これを解きほぐしてゆくこともまた容易ではない。今後もこうした地道な取り組みを続けていきたい。(三好章)

本年度より発売元を東方書店様にお願ひすることになった。これまでご尽力いただいた風媒社様に感謝申し上げます。本誌は創刊準備号(一九九七年三月)以来、日本語版三四冊と中国語版三冊を刊行した。今後も中国研究の拠点として邁進していきたい。(松岡正子)

投稿原稿募集 新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、鋭敏の論考を広く募集します。現代中国に関するテーマであればジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待します。①未発表のものに限る ②論説、研究ノート、報告ルポ、資料等=50枚程度、書評=20枚程度、エッセイ=10枚程度(400字詰原稿用紙換算) ③ワープロ等で作成したハードコピー原稿2部およびデジタルデータを提出。(原稿送付先) 愛知大学現代中国学会  
投稿規程の詳細は現代中国学会までお問い合わせ下さい。採否は編集委員会の検討を経て決定し、採用にあたっては規定により薄謝を進呈します。なお、応募された原稿は採否にかかわらず返却いたしません。

## 中国21編集委員会

(編集長) 松岡正子 安部 悟 梅田康子 砂山幸雄 薛鳴 古澤賢治 三好章 吉川 剛

愛知大学現代中国学部 <http://www.aichi-u.ac.jp/college/chi.html>

## 中国21 Vol.31

### 特集 帝国の周辺

——対日協力政権・植民地・同盟国

2009年5月30日発行

ISBN 978-4-497-20908-5 C3022

編集 愛知大学現代中国学会  
愛知県西加茂郡三好町黒笹370 〒470-0296  
Tel. 0561-36-1314 Fax. 0561-36-5526

発行人 砂山幸雄

発売元 株式会社 東方書店  
東京都千代田区神田神保町1-3 Tel. 03-3294-1001

制作印刷 株式会社 あるむ  
名古屋市中区千代田3-1-12 Tel. 052-332-0861